

第三種郵便物承認

平成30年8月7日

AJU 麦の会&麦の里ニュース

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 102 号 定価 100 円 平成 30 (2018) 年 8 月 7 日発行



発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三ー六ー四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

平成三〇年六月五日（毎週火曜日発行）

AJU通巻 増刊第一三三〇号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

社会福祉法人麦 基本理念

2018年3月22日

「夢はでっかく、歩みは一步步」

どんなに重い障害があっても、一人の人間として生き生きと活動できる場所を目指します。

「育ち合い、支え合いを大切にしたい、真に人間らしい営み」をめざして、彼らを取り巻く家族、そして職員たちが一緒になって、地域の人たちの理解を得ながら、ゆっくりと活動を展開していきましょう。

沿革

1993年「どんなに重い障害があっても地域で生活したい」という思いのもと、麦の会の活動は始まりました。

既存の施設からも断られるような、重い知的障害者や重複障害者を受け入れながら活動を続けています。障害を持ちながら前向きに頑張っている人たちを、共に生き、共に成長する「仲間」として、排除せず、彼らと共に麦の会は成長してきました。

- 1991年 4月 民家で活動開始
- 1993年 3月 障害者とともに歩む麦の会設立
- 1994年 5月 旧上品野小学校で作業開始
- 1995年 11月 共同作業所麦の里開所
- 2003年 7月 社会福祉法人麦設立
- 2004年 9月 身体障害者授産施設・通所療護施設「麦の里」開所
- 2009年 2月 グループホーム建設予定地取得
- 2011年 12月 生活介護・就労継続支援B型多機能事業所へ移行
- 2013年 2月 グループホーム用中古住宅取得（品野町1丁目・第2ホーム）
- 2015年 4月 グループホーム「七色の麦」開所

社会福祉法人麦 運営方針

2018年3月22日

- 1) 私たちは社会的使命と社会的責任を認識し健全な事業運営を行います。
- 2) 私たちは公正公平を原則とし、「相談」と「話し合い」を基本に、民主的な事業運営を展開します。
- 3) 私たちは、様々な障害を抱えた利用者を、「共に、同じ地域社会の中で生活していく人間」あるいは「共に、仕事を分かち合いながら働く人間」として認め、その存在を「自分と等しく社会の一員である」と認めて接していくために「なかま」と呼びます。
- 4) 私たちはなかまの安全と安心を守るとともに、障害者の自立支援となかま本位の精神を尊重し、誠実な施設運営を展開します。
- 5) 私たちは、なかまはもちろんのこと、職員その他すべての関係者の人権を尊重します。
そして、発達保障の立場に立ち、一人ひとりの「主体性」を尊重しながら、地域福祉の健全な発展に貢献します。
- 6) 情報マネジメントを基本にして、運営面のすべてにおいて情報公開を原則とした透明性のある事業運営を行います。

2018年3月の理事会において承認、法人の基本理念と運営方針を上記の文章でまとめました。
この考え方を、ぜひ、毎日の実践の中で生かしていきたいと思えます。
是非、皆様のご意見をお聞かせください。

「あなたのユメを叶えましょう」

「漫画喫茶に行きたい！！」

「のび」さんは麦の里に来て4年になります。麦の里に通い始めた当初は不慣れなことがたくさんありました。しかし、仕事・入浴・送迎車の中で会話を重ねていくと少しずつですが、彼の趣味・楽しいことを話してくれるようになってきました。彼は車椅子に乗っています。今回のレクでは、彼の「楽しいことを精一杯楽しんでもらうこと」と「いずれ1人で行けるように」ということをテーマにしています。

今回のレクリエーションは、「漫画喫茶」と「TSUTAYA」の2軒でした。計画を練るところからご本人が主体で取り組みました。仲間の会を開いて計画を仲間と職員で練っていききました。その中で、のびさんは、計画を練り始めた当初から自分で「ここに行きたい」「これをしたい」という思いがありました。まず、「漫画喫茶に行きたい」という要望が出てきました。それでも少し不安そうな様子をしていたので聞いてみると「車椅子が入れるかどうか分からない」とのこと。「電話してみますか？」と聞くと最初は驚いた様子でしたが、自分で電話をかけ可能な場所を探していききました。緊張しがちだった電話も回数を重ねていくと「ここに電話してみます」と徐々に積極的になっていききました。そして、場所が決まってくると今度はタイムテーブル作り。これもご本人に作ってもらいました。基本的に「彼がしたいことを自分でできるようにサポートする」ということを心がけました。

さて、当日ですが漫画喫茶では、インターネットが見たいとのこと。自宅にはパソコンがないので、漫画喫茶に行ってインターネットを見る。実際に行ったときは、ゲームの攻略法の研究でした。真剣な表情・眼差しで画面を見ている彼は、とても集中している印象でした。結局、30分延長して約40枚、印刷して漫画喫茶を後にしました。車中、とても満足した表情が印象的でした（目がキラキラしていました！）。その後、昼食を井もの屋さんで食べ、「TSUTAYA」へ。ここでは、店内をみてまわり過ごしています。1Fの本屋さんで買い物をし、少し予定より早い時間でしたが、麦の里に帰ってきました。

今回、付き添っていた私からは、のびさん自身、満足できたように見えてましたが、翌日、まだ足りなかったとおっしゃっていました。何が足りなかったか聞くと漫画喫茶でもっと調べたかったとのこと。「今度は、1人で行ったらどう？」と言うと自信がない様子。でも、外に出る機会が増えることでご本人にとっても「楽しい」ことが増えるように感じます。それに自分自身が行きたいときに行ける（休みの日に）とさらにいいなあと。

（村松）

「(ARASHI)に乗りたい！！」

直哉さん、勇樹さんと一緒に長島パ・ランドに行ってきました。とにかく最新の嵐に乗りたい。雨の予報が続いていましたが、当日は曇りで少しずつ快晴に向かっていきました。とにかく沢山楽しく乗る！を目標にいろいろ絶叫系を中心に乗っています！長島の絶叫という絶叫を、乗り尽くしました。人生初のスチールドラゴンは、仲間の熱烈な「乗って！」に負けて乗りました。お二人は平気そうでした。乗ってみればとっても爽快！もう一度乗りたいのですが、長蛇の列。残念でしたがその代わりの絶叫をこれでもかと言うまで時間いっぱい遊び尽くしました。次回は新しい絶叫系コースターが出来るとのこと。来年も行きたい！といっている仲間もいたレクリエーションでした。

（イワンコフ）



現場実習を終えた我が子の母の感想文

現場実習に参加してみて、一番に感じた事は”施設の皆さんの温かさ”でした。

遠方からでしたので、道中の不安や新しい場所に入る不安が大きかったのですが、到着すると、すぐに声を掛けて下さり、のんびりと過ごせる環境を提供して頂きました。そして楽しい時間と休憩時間も丁寧に組み立てて下さいました。

この温かさは、職員の皆さんだけでなく、利用者の皆さんも同じで、我が子にいっぱい声を掛け、手をいっぱい触れて下さいました。こんな触れ合いが、我が子にはすごく大切なことだと、常々思っていたので、幸せな環境で過ごせる施設だと実感しました。

もう少しで卒業を迎えるので、この施設での将来をしっかりと考えていきたいと思っています。

6月18日、19日の2日間、麦の里さんでの現場実習では、大変お世話になりました。医療的ケアの必要な息子は、母付き添いによる実習です。

2日間の実習の中で特に印象に残ったのは食事の時間です。利用者と職員が、一緒に同じフロアで食事を摂ること、個性も障がいもそれぞれ違う中で、みんなが同じ時間を共有すること、ここに麦の里さんの想いの様なものを感じました。

麦の里さんでの実習は、息子にとっても私にとっても大変賑やかで楽しい時間でした。ありがとうございました。

6月12日から14日の3日間、お世話になり、ありがとうございました。東農特別支援学校高等部3年の井澤実夢です。学校は岐阜県土岐市にあります。

1週間ぐらい前からドキドキしていましたが、1日目から親の心配をよそに、とても良い表情をして朝の会に参加させてもらいました。スタッフさん方の、優しい笑顔、そして元気な姿に実夢も「楽しく頑張ろう」と感じたのか、初めての体験にもたくさん笑顔で取り組むことが出来ました。利用者さん方の、穏やかな顔と、頑張っている姿にも勇気と希望をいただいた、とても貴重な実習でした。



名古屋学院大学学生さんとの交流

6月29日金曜日は、長年働いて下さった北川さんが麦の里最後の日でした。夕方には、仲間たちみんなで書いた色紙や花束を渡して、お別れの言葉を言おうと計画していました。その少し前には、名古屋学院大学の増田先生から、学生さんたちを約20名連れてボランティア学の講座として、6月29日に施設を訪問したいという相談がありました。

「どうしましょう」と考えて、急遽二つの企画を合体させ、北川さんのお別れ会もしつつ、学生さんたちと歌を歌って、紙吹雪のお見送りで結婚のお祝いと一緒にやってもらおうということになりました。

サプライズの企画変更でしたが、皆さん快く参加してくれました。そして、紙吹雪ですが、麦の里のお祝いでは、何度かやっています。紙ちぎりの作業で仲間たちが作ってくれました。金曜日の当日、北川さんには内緒で、一生懸命ちぎっていました。それをみんなで、「おめでとう」と言いながら、勢いよくまきました。北川さんに、最後にお礼を言えた仲間たちもたくさんいました。短いですが良い企画になったと思います。

最後になりましたが、突然の企画に巻き込まれても、文句も言わずに面白がつて参加してくださった、増田先生と学生さんたちへ、あらためて本当にありがとうございました。
(稲)

「共同募金平成30年度配分事業」で、新ハイエースが登場！！

廃品回収や送迎者で二年使用したレジアス車をハイエース車に更新しました

長年活動を継続している共同募金も募金額減少と聞いていますが、やっぱり有難い活動ですね。皆で募金しよう。
ありがとうございました！！



ウェルフェアボーリング大会に参加しました！



毎年恒例のウェルフェアボーリング大会に参加してきました！

今年も、大会の前に練習へ行き、本番では去年よりも良いスコアが出た仲間や、特別賞でトロフィーをもらった仲間もおり、とても楽しんで参加させて頂きました。もう少しで入賞が狙えるくらいの高スコアを出し、去年より上達していると感じました。

また来年もよろしく願いし

近隣の読者の方へ、牛乳パック大回収中！！

飲み終わったパックを洗って、乾燥させたものを回収しています。
切り開かずに、そのままの形状でお願いします！



仲間紹介

かめがいよしひろ

亀谷芳博さん

今から11年前、名古屋盲学校高等部3年生、あどけない表情の少年でした。音楽の授業ではピアノに合わせて、タンバリンを上手に叩いていました。

麦に来た当初は、廃品回収に行っても立ち止まり、動かないことがありました。(余談ですが、怖いと全く動かなくなり、スキー場のリフトを全部止めたことがあるという話を母から聞いたことも)それでも回数を重ね体験することで、本人の中で見通しが立つと出来ることや、言葉数も増えていきました。

入所して丸10年、今では麦の中で中堅さんになりました。少年だった亀谷さんは、「亀ちゃん、亀ちゃん」と呼ばれる皆のアイドル。お姉ちゃんが大好きで、頑固なところもあるがおっとりしていて、おしゃべりも楽しく、ムードメーカー的存在です。

歌が大好きで、「地球号」、「おうどん」と口ずさむことも多々。レクではカラオケにも初挑戦。空いた時間にリクエストすると、拍手しながら童謡からアニメ、J-POPまで幅広いジャンルの曲を歌っています。

夏になると、「太陽行く!」とテラスのベンチで昼食後、身体を焼いていましたが、最近は室内のソファがお気に入り、ごろごろしています。

慣れないことにはとても慎重ですが、慣れたことには1人でへっちゃら。麦の中をしっかりと把握しており、朝、送迎車から麦の里へ吸い込まれるように玄関から階段を上がり、帰るときも吸い込まれるように玄関へ。ときには職員が追いつけない足の速さです。

麦に入って1年目は“運動をさせたい”という周囲の期待もあり、昼休みの散歩に挑戦していましたが、散歩に行くたびにしゃがみ込んでしまい、ついに昼休みは昼寝で安定。でもきっとあの頃は、慣れない麦であちこち外の廃品へ連れ出されてストレスいっぱいだったと思います。今はもうすっかり慣れたのだから、ぜひ昼休みは散歩をして、もっと汗をかいて、足を鍛えて欲しいと思います。亀谷さんが笑うと、みんなも笑顔に。これからもお喋りや歌、運動も一緒に楽しみましょう。

＃アグネスコラム

あなたは“あいさつ”という漢字が書けますか？

そのために、ここではあえて、あいさつを平仮名で表記します。

目上の人や親しい人、掛ける言葉は同じでも、その姿勢や態度はきっと違います。あいさつ上手は友人が多いと聞きますが、口を開くことの大切さを学べます。

また、皆さんの周りには居ませんか？壁に向かってあいさつをする人。「私は此処にいますが、あなたはまだ練習中ですか？」と尋ねたいものです。

お節介のアドバイスですが、是非、相手の表情を見てあいさつをしてみてください。それだけであなたの印象は変わり、あなた自身の見えている景色も変わっていくことでしょう。

あいさつには意味があります。「あなたを気にかけていますよ」と。

あなたからあいさつをしましょう。

少なくとも、あなたの存在する場所が、より良く変わっていくきっかけとなるはずです。

中品野町 グループホーム七色の麦 思い出の写真館



2018年7月9日(月)曜日。好天に恵まれた中、お祝いと送別会を兼ねて、七色の麦にて北川さんのプチウェディングを開催。皆が見守る中、七麦らしいフローリングのバージンロードを1歩ずつ歩み、主役の席へ。

「病めるときも、健やかなるときも…」と誓いの言葉を読み上げる中で、北川さんが感極まる場面もありました。

ちょっぴりしんみりしつつ、ケーキ入刀へ。ケーキはハウスキーパーの久美子さんお手製で、仲間達がデコレーションしたスペシャルウェディングケーキに仕上がっていました。そんなケーキにナイフを入れていく北川さんを見て、みんな笑顔に。その後は祝宴となり、しばらく歓談。お約束の写真タイムとなり、「おめでとう！」と声をかけにいくことができました。

落ち着いてきたところに仲間が余興の歌を披露することに。『翼を下さい』『負けないで』の2曲で、伴奏は名古屋学院大学の増田先生と学生さんにいただき、生演奏で歌いました。

麦らしい歌のプレゼントが終わり、メインプログラムの感謝の気持ちへ。

北川さんへの様々な想いを込めて用意したプレゼントを、仲間達が1人ずつ渡していきます。折り紙で作った花を渡したり、デコレーションしたフォトフレームを渡したり。プレゼントを用意して下さったご参列者の皆様も交えて、「おめでとう」と「ありがとう」が咲き乱れた一幕でした。

楽しい時間はあっという間に過ぎていき、閉式まであと僅か。想いを受け取った北川さんか、今、仲間に向けて伝えたいことをお話して頂きました。

「この手。働き者の手なんだよね」「私に優しくしてくれて本当に、ありがとう」「言葉はないけど、なんでもわかってるよね」等、印象に残った言葉は数知れず。涙ぐむ北川さんから直接言葉を貰った仲間達の心には、忘れられない何かが残ったことでしょう。

フィナーレを飾るのは『新婦退場』。涙と笑顔がない交ぜになった会場に、紙吹雪が舞い踊ります。仲間達は声の限り祝福し、動かせる限り腕を動かしていました。

可憐な後姿を残して、北川さんは出口へ向かってゆっくりと歩いていきます。境界線を越え、七麦から嫁いで行った北川さんがみんなの方に振り返りました。溢れそうな涙目に、とびっきりの笑顔。また、忘れられない思い出が1つ、会場にいた全員にできたようです。(小木曾)



社会福祉法人 麦 平成29（2017）年度 決算報告書

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

（自）平成29年4月1日 （至）平成30年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	5,200,000	4,843,892	356,108	
	障害福祉サービス等事業収入	150,008,000	148,767,746	1,240,254	
	借入金利息補助金収入	354,000	354,000	0	
	経常経費寄附金収	7,500,000	7,762,312	△ 262,312	
	入受取利息配当金	2,500	921	1,579	
	収入その他の収入	3,162,000	3,171,574	△ 9,574	
	事業活動収入計（1）	166,226,500	164,900,445	1,326,055	
	支出				
	人件費支	129,010,000	119,449,785	9,560,215	
	出事業費	17,573,000	12,781,485	4,791,515	
	支出事務	15,572,000	13,718,324	1,853,676	
	費支出	5,200,000	4,966,502	233,498	
	就労支援事業支出	823,612	763,262	60,350	
	支払利息支出	1,720,000	1,534,900	185,100	
	事業活動支出計（2）	169,898,612	153,214,258	16,684,354	
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）	△ 3,672,112	11,686,187	△ 15,358,299	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	2,852,000	2,852,000	0	
	その他の施設整備等による収入		0	0	
	施設整備等収入計（4）	2,852,000	2,852,000	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	5,758,000	5,758,000	0	
	固定資産取得支出	20,650,000	2,643,350	18,006,650	
	その他の施設整備等による支出	10,000,000	0	10,000,000	
	施設整備等支出計（5）	36,408,000	8,401,350	28,006,650	
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）	△ 33,556,000	△ 5,549,350	△ 28,006,650	
その他の活動	収入				
	その他の活動収入計（7）	0	0	0	
	支出				
	その他の活動支出計（8）	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）	0	0	0	
予備費支出（10）		1,500,000		1,500,000	
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）		△ 38,728,112	6,136,837	△ 44,864,949	
前期末支払資金残高（12）		83,924,700	96,122,295	△ 12,197,595	
当期末支払資金残高（11）＋（12）		45,196,588	102,259,132	△ 57,062,544	

社会福祉法が改正され1年が経過しました。当初の予想に反し、大きな混乱もなく無事1年が過ぎました。

しかし、社会福祉に対する風当たりは強いのか、人員不足が深刻化しています。

名古屋の法人でさえ人が集まらない。求人広告で100万円かけても来ない。来るのは求人広告を見た他の業者さんからの問い合わせばかり。など都市部でも先が見通せない事態になっています。

社会福祉法人麦ではグルームホームをもう1ホーム増やす予定でありますが、ちっとも職員充足できません。特に女性の正職員さんの応募はない状況です。お知り合いでご紹介いただけたらと思う次第です。

さて、平成29年度の決算です。就労継続支援B型は、通所回数が少なかった方がほぼ毎日通えるようになり、その分収入増となりました。生活介護は、退所者やインフルエンザなどによる欠席が多く収入減となっています。グループホームは、体験入所の利用が倍増したのですが、3月のインフルエンザにより閉所を余儀なくされ、前年とほぼ同じ水準でとなりました。

支出は、事業費、事務費ともに大きな変化はありませんが、台風による建物の損害があり修繕費がかかっています。人件費は、ベテランパートさんの退職や正職員の病欠・育児休暇取得などがあり、前年より減っています。

収支差額としては、寄付金収入増によりどうにかプラスとなっているといった状況です。

社会福祉充実残額は、出ませんでした。したがって今年度も社会福祉充実計画は作成しません。

（※社会福祉充実残額・・・厚生労働省から示された計算式に決算の数字を当てはめた結果、余剰財産が発生した場合、これを社会福祉充実残額とします。社会福祉充実残額が発生した場合は、その資金により地域公益活動に使うこととされ、社会福祉充実計画を作成する事になっています。）

就労継続支援B型の仲間の障害支援区分が重度化し、より手厚い支援が必要になってきています。また、麦の里は、最重度の重複障害者を受け入れている施設として定着しているため、入所希望者は重度の方ばかりになっています。このような状況から今後は生活介護事業に1本化することとしました。計画では、平成30年度中としていますが、新ホームの職員のこともあり、正職員を増員した上での移行となります。

社会福祉法人麦 理事長 渡邊 寛

第三種郵便物承認 平成30年8月7日 AJU 麦の会&麦の里ニュース

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

（自）平成29年4月1日 （至）平成30年3月31日
（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	4,843,892	4,780,223	63,669
	障害福祉サービス等事業収益	148,767,746	150,083,027	△ 1,315,281
	経常経費寄附金収益	7,795,887	4,802,396	2,993,491
	サービス活動収益計（１）	161,407,525	159,665,646	1,741,879
	費用			
	人件費	119,449,785	116,712,305	2,737,480
	事業費	12,815,060	12,723,837	91,223
	事務費	13,718,324	11,432,139	2,286,185
	就労支援事業費用	4,860,644	5,086,153	△ 225,509
	減価償却費	12,846,988	12,896,367	△ 49,379
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 7,216,042	△ 7,209,110	△ 6,932
	サービス活動費用計（２）	156,474,759	151,641,691	4,833,068
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）	4,932,766	8,023,955	△ 3,091,189
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	354,000	404,000	△ 50,000
	受取利息配当金収益	921	1,256	△ 335
	その他のサービス活動外収益	3,171,574	2,365,675	805,899
	サービス活動外収益計（４）	3,526,495	2,770,931	755,564
	費用			
	支払利息	763,262	839,139	△ 75,877
	その他のサービス活動外費用	1,534,900	1,325,850	209,050
	サービス活動外費用計（５）	2,298,162	2,164,989	133,173
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）	1,228,333	605,942	622,391
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		6,161,099	8,629,897	△ 2,468,798
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	2,852,000	2,852,000	0
	特別収益計（８）	2,852,000	2,852,000	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	7	23,907	△ 23,900
特別増減の部	特別費用計（９）	7	23,907	△ 23,900
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）	2,851,993	2,828,093	23,900
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）		9,013,092	11,457,990	△ 2,444,898
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）	154,950,239	143,492,249	11,457,990
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）	163,963,331	154,950,239	9,013,092
	基本金取崩額（１４）	0	0	0
	その他の積立金取崩額（１５）	0	0	0
	その他の積立金積立額（１６）	0	0	0
	次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）	163,963,331	154,950,239	9,013,092

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表

平成30年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	114,764,282	106,973,023	7,791,259	流動負債	12,263,484	10,714,920	1,548,564
現金預金	89,346,433	77,850,191	11,496,242	事業未払金	11,745,762	10,186,632	1,559,130
事業未収金	24,508,778	27,431,231	△ 2,922,453	預り金	500,042	475,698	24,344
商品・製品	120,010	39,620	80,390	前受収益	0	30,730	△ 30,730
原材料	121,656	96,188	25,468	仮受金	17,680	21,860	△ 4,180
立替金	73,025	233,541	△ 160,516				
前払費用	468,730	1,204,162	△ 735,432				
仮払金	100		100				
その他の流動資産	125,550	118,090	7,460				
固定資産	313,310,694	608,334,342	△ 295,023,648	固定負債	59,150,000	64,908,000	△ 5,758,000
基本財産	287,070,783	297,023,529	△ 9,952,746	設備資金借入金	59,150,000	64,908,000	△ 5,758,000
土地	44,730,000	44,730,000	0	負債の部合計	71,413,484	75,622,920	△ 4,209,436
建物	241,340,783	251,293,529	△ 9,952,746	純資産の部			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	基本金	45,684,000	45,684,000	0
その他の固定資産	26,239,911	311,310,813	△ 285,070,902	国庫補助金等特別積立金	147,014,161	154,230,203	△ 7,216,042
土地	8,277,000	44,730,000	△ 36,453,000	次期繰越活動増減差額	163,963,331	154,950,239	9,013,092
建物	2,899,030	251,293,529	△ 248,394,499	（うち当期活動増減差額）	9,013,092	11,457,990	△ 2,444,898
構築物	2,498,399	2,707,901	△ 209,502				
機械及び装置	1,192,180	1,514,022	△ 321,842				
車輛運搬具	6,849,082	6,330,763	518,319				
器具及び備品	1,098,205	1,308,583	△ 210,378				
建設仮勘定	3,426,015	3,426,015	0	純資産の部合計	356,661,492	354,864,442	1,797,050
資産の部合計	428,074,976	715,307,365	△ 287,232,389	負債及び純資産の部合計	428,074,976	430,487,362	△ 2,412,386

職員新人紹介

まつぎきあずさ 松崎 梓 さん



事務のパート職員、松崎梓（39歳）さんを紹介します。

沖縄出身の愛知県育ち。両親が沖縄出身ということで、顔立ちは“うちなーんちゅ（沖縄人）”そのもの。

現在、優しい主人に長女（12歳）と長男（5歳）の4人家族。好きな音楽はモンゴル800、ONE OK ROCK、その中でもユニコーンが大好きだそうです。

将来の夢は、猫に囲まれて暮らすことに加えて、保護猫カフェの開業。幼いころから猫を飼い、大切に育てていた猫は亡くなったそうです。最近娘のアレルギー血液検査に付き合い、松崎さん自身も行ったところ、猫アレルギーだと判明。思い返せば幼いころから鼻炎だと思っていたけれど、飼い猫が亡くなり、鼻水も収まっていたと笑いながら話されます。厨房、接客や工場検査や事務員を経て、今年の3月に瀬戸市に家を構え、春日井市から引っ越してきました。そして麦の里で働くことになりました。

事務員はその職場の顔と言いますが、皆さんから麦の里へ掛かってくる電話をととても丁寧に次々と対応しています。もちろん他にも事務作業を行い、覚えることは多々。松崎さんを事務室で見かけると安心感を覚えます。気軽に話せる松崎さんはきっと、職員の良き相談相手になってくれることでしょう。

職員のつぶやき

久しぶりにA君と廃品回収に行きました。A君は、自力で歩行できますが、足を引かずりがちで、外での仕事に転倒しないように、見守りが必要な仲間です。車がそばを通ると若い職員が「車がきまーす」と声をかけます。みんなが道の端に寄るのですが、A君はワンテンが遅れます。彼は、そばにいた私に、「危ない」と教えてくれて、端に寄るように指示し、私がその指示に従ったあとで、安心したように、自分も端によけるのです。

ありがたいなあと思いました。また、一生懸命なんだなあと思いました。障害者は、一方的に守られる側に見られがちですが、本人たちは、結構そんなことはお構いなしに、その時に大事だと思ったことを、きちんと実行します。「注意散漫で、なかなか指示が入らない」と思われているA君ですが、職員の話をよく聞いて、自分で考えて行動しているのです。まあ、結果として、「すぐに道の端に寄るように」という職員の指示を聞いてくれなかったように見えるわけですが。

B君は、言葉のない車イスの仲間で、体も小さいので、みんなから「かわいい子」扱いを受けがちです。でも、よく見てみると、他の仲間が仕事におしゃべりし出すとじっとそっちを見て、手を伸ばします。言葉にはならないですが、注意しているようです。「B君、しゃべらずに仕事がんばれって、言ってる？」と聞くと、会心の笑顔で、「はい」と言っていました。残念なことに、「仕事の中盤になると、目の前の仕事から注意がそれがちである」というように見られがちなのですが。こうしたことを、仲間の自主性と呼ぶのだと思います。まだ、職員のまねになりがちですが、明らかに自分の考えで行動を起こしています。そうした小さな「自主性」に気づける職員でありたいと思っています。（稲）

お礼のコーナー

〈敬称略 順不同〉

◆◆麦の会の会員・賛助会員になっていただきました◆◆

会 員 新 規 : 越智メイ子 (川口花音)

賛助会員新規: 加藤公子 春見重美

会 員 更 新 : 松本阿衣子 内海彩 加藤凌 加藤洋介 伊藤恵梨 中川健司 梶田実里
小林恵里佳 輿石圭介 中本貴史 河合浩輝 浜口元気 亀谷芳博 佐分利美千代
谷川博 小林和生 稲垣聡 渡邊覚 渡邊照予 岩田忠昭・文子 梶田邦江
今村恵美子

賛助会員更新: 増山峰生 横山文代 スズリョーベルックス (株) 野崎栄子 村上雅康 稲垣渥子
熊崎敦子 (資) カネ三商店 金田昌博 近藤直子 土野陸雄 (有) 伊藤商事
阪野延子 寺島裕子 神野秀幸 小川美登代 奥平待子 加藤博子 鈴木まもり
平手正美 野知里紀子 橋口年子 岩田啓子 (有) 米繁 横井智子 宮下洋子
(株) EM生活 堀川芳夫 植田美恵子 野村龍彦 加藤進一郎 田中千賀子
木全考次・久美 梅田尚美 能島正江 (株) 協和コーポレーション 加藤規江
下里桂司 日比野令子 加藤洪太郎 原田千育 新井英文・亜由美

◆◆バザー用品等を提供していただきました◆◆

梶田鉦子 前田美智子 加藤鈴子

◆◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金&物品をいただきました◆◆

岩田忠明・文子 水野すみ子 宮下洋子 古謝忍 匿名希望6名

—お詫びとお断り—

賛助会員の申し込み、バザー用品、また寄付金などのご協力を頂いた方については、事務処理の都合上掲載が次号になる場合があります。申し訳ございませんが、御了承下さい。 (7月10日現在)

正職員・パート短時間アルバイト大募集!!

(夜勤、遅番、可能な女性也大募集!!)

社会福祉法人麦では、新事業として第二グループホーム&第二麦の里を開設する予定です。それに伴い職員を募集しています。麦の里をはじめ、開設する施設でのスタッフを男女問わず募集しています。詳しくは麦の里までお問い合わせ下さい!!

たとえば…早朝2時間のみ・夜間2時間のみ(週1でも可)

今後の予定

8月

- 3日 やすらぎ夏祭り
- 4日 麦の会 定例会
- 5日 まごころイベント出店予定
- 7日 床屋デー
- 11日 イエローシートキャンペーン
- 11~14日 夏休み
- 25日 麦の会役員会
「広がれ!防災運動会」参加

9月

- 8日 麦の会 定例会(1日活動日)
せともの祭り募金
- 9日 ふれあい朝市出店予定
- 11日 イエローシートキャンペーン
- 25日 北山地区廃品回収予定
麦の会 役員会
- 29.30日 来る福招き猫まつり参加予定
- 30日 コロニー祭参加予定

やすらぎ会館 木曜市 開催日

* 8月 *

- 2日 午後
- 9日 午前
- 16日 午後
- 23日 午前
- 30日 午後

* 9月 *

- 6日 午後
- 13日 午前
- 20日 午後
- 27日 午前

午前: 10:00 ~ 11:30

午後: 13:30 ~ 15:00

会場

住所: 愛知県瀬戸市川端町1-31

電話: 0561-84-2011

パン、炭、EMボカシ等仲間と接客販売しています。
是非仲間たちに会いにきてくださいね。

※ 変更になる場合もあります。

障害者とともに歩む

生活介護事業 及び

就労継続支援事業B型

共同生活援助事業

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12

電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766

Mail nakamanowa@mugisato.or.jp

麦の会

麦の里

七色の麦

編・集・後・記

表紙の写真は七麦のみんなから
結婚した北川さんへのプレゼント
です。機関紙に乗っています!
是非読んで下さい。

(たら)